

我が町会はこんな処～柴崎区自治会

我が柴崎区の草創期は平安時代と言われてます。近世江戸時代天保期に於いては村高 500 石、家数 80 軒程度の平均的サイズの村でした。村内は 3 つの所領に分かれており、とりわけ利根川沿岸の流作地帯からの運上金が村の主な収益源となっていたようです。

同区は旧水戸街道沿いに位置し、大正から昭和初期にかけて仲通りと呼ばれる中心街は造り酒屋、醤油屋、薬雑貨、菓子屋、旅館等が林立して賑わいを見せ、また下ヶ戸部落との分かれ道があり、更に我孫子宿、青山宿、取手宿、利根川渡しの中間の休所となっていたことも賑わいの大きな要因であったと思われます。そして柴崎神社の西側には矢合戦をしたかのような低地が広がっており、足を踏み入れれば正に平将門が命を燃やした遠い昔に誘ってくれるかもしれません。

昭和 45 年の天王台駅新設に伴って区画整理が始まりました。南の台地は大きく変貌し柴崎台となりましたが、同区には未だ昔の面影が根強く残っています。現在家数凡そ 300 軒、霊験あらたかな柴崎神社境内に静かに佇む自治会館を拠点に自治会活動を執り行っています。加えて社は柴崎神社の他に頸（くび）天神、石尊宮（イボ神様）があり、また寺は東源寺、円福寺の 2 ヶ所ですが、信仰は真言宗、曹洞宗、日蓮宗と様々です。

終わりにお時間が許すようでしたら歴史ある神社仏閣や北の低地に広がる自然豊かな稲田はもちろん、四季折々の風物詩や妙味のある年寄り言葉、方言等にも触れてみてはいかがでしょうか。よりノスタルジックな気分になれるのではないかと思います。 柴崎区自治会 副会長 小池 正利

この季節の草花だより

山茶花（さざんか）



幼い頃この季節にうたった童謡はどなたも忘れていないでしょう。「かきねのかきねの まがりかど 焚火だ 焚火だ 落ち葉 焚き・・・♪」

最近是我孫子市内でも元農家が多かった場所以外、山茶花やお茶の木垣根はすっかり姿を消しましたね。この地区社協の地域は、まだまだ山茶花がお庭にある大きな旧宅がありますね。椿と違い花が一気にぽろっとおちることはない、縁起を担いで椿より山茶花の方が庭木として好まれます。薄紅色の山茶花はこの時期とても風情があって好きな花です。白や濃いピンクなどどの色も自己主張することなく楚々と咲いて日本庭園に似合いますね。 (H/S)

編集後記

少し硬い話になりますが、市社会福祉協議会が「第 6 次我孫子市地域福祉活動計画」を策定し、基本理念は「安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり」を謳っています。

天王台地区社協として、2019 年度の地域福祉交流会などから「住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けたい」という思いをかなえるために、まずは高齢者になって困っている「ごみ出し支援」を取組むことにしました。

天王台地区社協は、地域福祉交流会で「ごみ出し支援」の仕組みを提案し、高評価を頂きました。しかし、効果ある活動にするには、自治会、福祉団体と協働して実行する必要があります。

一部自治会とは個別の取組みのため、打合せを持っていますが、定着するにはわかり易い情宣活動の継続が必要であると感じています。

(I/N)

問合せ・連絡先 天王台地区社会福祉協議会（天王台地区社協） 事務局
開設日時 月～金曜日（祝日 及び 第 2・4 火曜日は休み）
午前 9 時～12 時・午後 1 時～4 時
所在地 〒270-1144 我孫子市東我孫子 1-41-33 近隣センターこもれび内
☎・FAX 04-7183-9009 E-mail: tennoudai@abiko-shakyo.com



天王台地区社協（通称）は、天王台駅をはさみ、北側に「天王台北近隣センター」、南側及び東我孫子駅側に「近隣センターこもれび」の二つの「まちづくり協議会」の範囲（我孫子中学校区）で地域福祉の拠点となり、地域の皆様の参加と協力で「福祉の街、天王台」を目指して福祉事業を展開しています。

地域の皆様 あけましておめでとうございます。

令和 5 年、新しい年を迎え、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

日本国内で初めて感染確認がされた 2020 年 1 月 15 日から 3 年、新型コロナ感染が急激に拡大する波が、すでに 8 波目となっています。その波を乗り越えるために、「自分が感染しない、他の人に感染させない」と、みんな各々感染対策に留意して毎日の生活を工夫して進めています。

感染症流行当初は多くの団体において地域活動を大幅に自粛していましたが、昨年「地域のつながり」を保ち続けるため、適切な感染対策や活動の工夫を行いながら徐々に再開してきております。

私たち天王台地区社協も日々の感染者の年齢状況の推移を注視し、特に参加される高齢者の方々が「ココロもカラダも健康」を維持するための取組みに的を絞り、活動を進めております。

天王台地区も高齢化が進んでおりますので、誰もが住み慣れた地域で、元気で安心して過ごすために必要とされている「健康でいること、人と人のつながりがあること、いざという時に支えてくれる人がいること」をポイントに、高齢者地域ささえあい活動を地域関係者の皆さまと話し合い、進めていきます。その第一弾として、下記記載の通り生活支援事業「ごみ出し支援」取組みを昨年 10 月からスタートさせましたので皆様のご協力をお願いします。

本年も Save The community 精神を忘れず、常にコンパッション（思いやり）をもって取組んでいきたいと思ひます。ご支援ご協力をお願いします。 天王台地区社会福祉協議会 会長 細見英樹

高齢者地域ささえあい活動 「ごみ出し支援」事業取組みキックオフ !!

2022 年 10 月 1 日の地域福祉交流会で提案し、また、ゆうゆうだより 82 号で告知しました「ごみ出し支援」事業がスタートし、利用したい方の応募がありました。まだまだ地域への認知度が行届いていませんが、自治会の皆様にご支援ご協力をいただき、この地域でのお互いに支え合う活動を推進していきます。特に支援をお手伝いいただく方の登録がポイントでありますのでご協力をお願いします。

ごみ出しをお願いしたい人

= 利用会員

ごみ出しが大変、
重たいし、時間もかかるし、
だれかにお願い
できたらな・・・。



ごみ出し支援をお手伝い頂く人

= 協力会員

持って行きますよ！



利用会員・
協力会員希望の方

お電話ください！！

天王台地区社会福祉協議会 ☎ 04-7183-9009
利用会員と協力会員の活動内容について、コーディネーターが説明します。

